

小津映画にユーモアを学ぶ ～活弁映画のおもしろさ

ユーモア
映画鑑賞

この講座では、「世界の巨匠」小津安二郎監督によるユーモアあふれる映画を活動弁士付で鑑賞し、私たちの身近なところにユーモアを見つけ出して生活を豊かにするわざを学びます。

映画を鑑賞するとともに、ユーモア学を専門とする森下伸也関西大学人間健康学部教授が、映画に散りばめられた小津監督独特のユーモアの数々について解説・講義を行います。

今回は小津監督におけるヒューマン喜劇の先がけ的作品『東京の合唱』（1931）。不況下でクビになった男が家族や周囲に助けられながら再起に向かう心あたたまる物語をコミカルに描きます。高峰秀子の子役も見どころ。活動弁士は、気鋭の女流弁士・斎藤裕子氏。皆様、お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。



平成28年11月12日(土)
13:30～15:30



関西大学堺キャンパス
SB302教室

第4回

東京の合唱

1931年(91分)

活動弁士付！無声映画上映

- 場 所：関西大学堺キャンパス
南海電鉄高野線「浅香山」駅下車 徒歩1分
(自動車・バイクによる入構はできません)
- 対 象：堺市民、その他
- 参加費：無料
- 申込方法：FAXまたはハガキ・Eメールにて、①郵便番号・住所 ②お名前・ふりがな
③電話番号 をご記入の上、裏面の宛先までお送りください。



「※10月28日(金) 必着」

後日、聴講券を送付いたしますので、当日会場までご持参ください。

■弁士プロフィール

齋藤 裕子（さいとう ゆうこ）／台本、語り



1980年から舞台活動を開始。劇団ひまわりの全国公演や劇団影法師の海外公演、水芸（和妻）の奇術アシスタントなどを経て、2001年東京キネマ倶楽部で弁士デビュー。2002年澤登翠門下生となる。

インドの『オシアンズシネファンインド・アラブ映画祭』エストニアでの『欧州文化首都』などの海外公演から、『米子映画事変』では、アニメ“グレンラガン”“放課後のプレアデス”に活弁を付けるなど無声映画以外の映像にも着手。

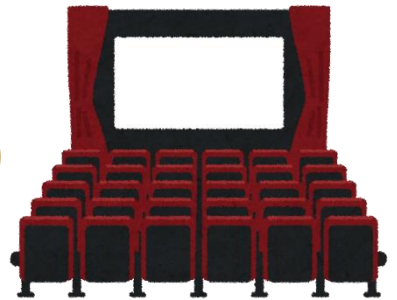
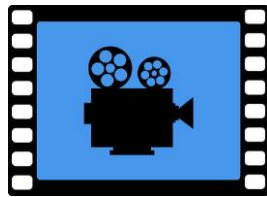
『今みて新しいサイレント映画ライブ』という自主公演のシリーズにも挑戦中。七色の声を生かして、レパートリーは日本のチャンバラから洋画メロドラマまで多数。

■講師プロフィール



森下 伸也（もりした しんや）

関西大学人間健康学部教授。長崎大学助教授、金城学院大学教授などをへて現職。専攻は社会学・ユーモア学。日本笑い学会会長、日本ホスピタル・クラウン協会理事。著書に『ユーモアの社会学』など。



(宛先) 関西大学堺キャンパス事務室 地域連携担当
「小津映画(第4回)」係

(住所) 〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1

(FAX) 072-229-5082

(Eメール) sakai-info@ml.kandai.jp

(お問合せ) 関西大学堺キャンパス事務室
072-229-5024 (代表)

(主催) 関西大学

(URL)

http://http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/index.html

FAX送信用紙 関西大学堺キャンパス「小津映画(第4回)」係

FAX番号 072-229-5082

住所 〒

ふりがな
氏名

電話番号